

<取組事例紹介（ふるまい推進指導員研修）>

〔隠岐の島町立磯小学校 P T A〕

【研修のテーマ】

「子どもとの「間」を「魔」に
していませんか」

【内容】

- ・子どもとの関わりで大切なのは『間』その間が『魔』にならないためには
- ・子どもとの関わりの中で大切なのは「他者理解」であるが、他者を理解するためには「自己理解」が大切
- ・ふり返る時間を生み出す呼吸法の実践



【感想】

- ・とても柔らかい雰囲気、様々な事例をもとに話をされ、今後の実践に活かしていこうと思いました。
- ・自分を理解できている以上に他者理解は出来ないということばが印象的でした。これからは、自己理解を深めていきたいと思いました。



〔美郷町 君谷公民館〕

【研修のねらい】

・地域に小学校がなくなり、地域住民と子ども達の交流が少なくなった。交流の場を設けることで、お互いを思いやる気持ちを育てる。

【研修の様子】

- ・椅子に座って、一つの大きな輪になった。
- ・座ったまま、軽く腕と手の運動。
- ・大人2人、子ども1人でグループを作り、手をつないだり合わせたりしてコミ

コミュニケーションをとる。

- 子どもだけが他のグループへ移動する。移動先は自分で見つける。その際に、きちんと挨拶をして入れてもらう。受け入れるほうも、挨拶をして入れる。
- 高齢者も、子供たちも楽しそうな笑顔であふれていた。「楽しかった」「子供たちとふれあえるのは嬉しい」という感想も聞かれた。



〔出雲市立須佐保育所〕

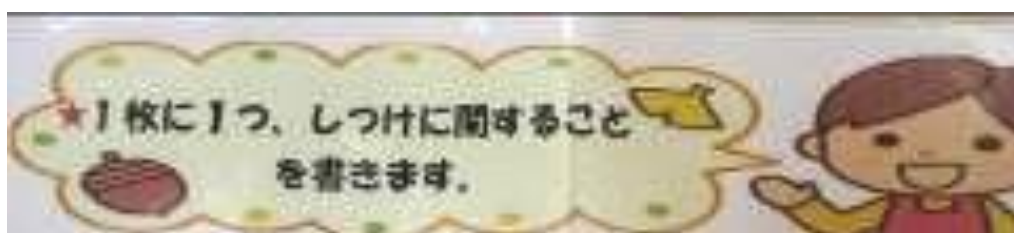
【演題】「親のしつけは子どもへの大切な贈り物」

【内容】

• まずは体操でリラックス。そして、携帯番号の下二桁を利用してグループ決め。5グループ完成。なごやかに研修が進みます。



- 小さな紙が配られて、「テーマ発表」。みんな、真剣に書き始めました。



・しつけについて大切にしていること、子どもへの願い、気を付けていることなど、思いつくまま、ペンが進みます。



・カードを通して話し合い。トランプのようなめくり方にちょっとワクワクします。和やかに会話が進みます。

・ひとしきり、話し合いが終わると、今度は、隣のグループとカードを交換。

「あいさつのできる子になってほしい」

「思いやりのある子になってほしい」

「個性を大事にしたい」

「兄弟平等に」

など、たくさんの意見が出ました。

子どもに対する気持ちはみんな同じだなあ~と感じたり、「今日から変わる!」と思いを新たにされたりしたようです。



・今後のしつけで大切にしたいことを書き、グループごとに話し合い、代表者が発表しました。



・最後に、先生にしっかりまとめていただき、みんなが感動！楽しい研修となりました。